

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【公表番号】特表 2019-519305 (P2019-519305A)
 【公表日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-027
 【出願番号】特願 2018-564856 (P2018-564856)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 5/448 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 5/448

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 10 日 (2020.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医療用インプラント用の蓋であって、前記蓋は、係合手段と係止手段とを備え、前記係止手段は、前記係合手段がインプラントと係合 / 係合解除し得ない係止位置と、前記係合手段がインプラントと係合 / 係合解除し得る係止解除位置との間で移動可能である、蓋。

【請求項 2】

前記蓋は、第 1 の部分と第 2 の部分とを備え、使用中、前記第 1 の部分に対する前記第 2 の部分の回転、または、前記第 2 の部分に対する前記第 1 の部分の回転が、前記係合手段を前記インプラントと係合させ、前記蓋を前記インプラントに取り付けさせるように、前記第 2 の部分は、前記第 1 の部分に対して回転可能である、または、前記第 1 の部分は、前記第 2 の部分に対して回転可能である、請求項 1 に記載の蓋。

【請求項 3】

前記第 1 の部分は、前記第 1 の部分に対する前記第 2 の部分の回転または前記第 2 の部分に対する前記第 1 の部分の回転を促進するための回転手段を備える、または、前記回転手段に接続している、請求項 2 に記載の蓋。

【請求項 4】

前記係止手段は、前記回転手段と同一の構成要素によって提供される、請求項 3 に記載の蓋。

【請求項 5】

前記係止手段は、前記回転手段と異なる構成要素である、請求項 3 に記載の蓋。

【請求項 6】

前記係止手段は、後退可能な部材を備える、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の蓋。

【請求項 7】

請求項 2 に従属する場合、前記後退可能な部材は、前記第 1 の部分に対する前記第 2 の部分の回転または前記第 2 の部分に対する前記第 1 の部分の回転が防止される第 1 の位置と、前記第 1 の部分に対する前記第 2 の部分の回転または前記第 2 の部分に対する前記第 1 の部分の回転が可能である第 2 の位置との間で、移動可能である、請求項 6 に記載の蓋。

。

【請求項 8】

前記後退可能な部材がその第 1 の位置にあるとき、前記後退可能な部材は、前記第 1 の

部分を通して前記第 2 の部分内の孔または陥凹内へ延在することが可能であり、これにより、前記第 1 の部分および前記第 2 の部分の回転を防止する、請求項 7 に記載の蓋。

【請求項 9】

前記係止手段は、係止解除位置にあるとき、前記係止手段が、前記係合手段を前記インプラントと係合させるまたは前記インプラントから係合解除させるために、または、前記係合手段を前記インプラントと係合するまたは前記インプラントから係合解除することを促進するために使用され得るように、配列される、請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の蓋。

【請求項 10】

シールをさらに備える、請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の蓋。

【請求項 11】

インプラントであって、前記インプラントは、前記インプラントに取り付けられる請求項 1 ～ 10 のいずれかに記載の蓋を伴う、インプラント。

【請求項 12】

医療用インプラント用の蓋に係止する方法であって、前記蓋は、係合手段と係止手段とを備え、前記方法は、前記係合手段が前記インプラントと係合し得ないまたは前記インプラントから係合解除し得ない係止位置へ前記係止手段を移動することを含む、方法。

【請求項 13】

医療用インプラント用の蓋に係止解除する方法であって、前記蓋は、係合手段と係止手段とを備え、前記方法は、前記係合手段が前記インプラントと係合し得るまたは前記インプラントから係合解除し得る係止解除位置へ前記係止手段を移動することを含む、方法。

【請求項 14】

前記蓋は、請求項 1 ～ 10 のいずれかに記載の蓋である、請求項 12 または請求項 13 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0175

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0175】

インプラントを伴う、またはそれに対する医療用インプラント用の蓋であって、シール手段と、圧縮手段とを備える、蓋をシールする方法であって、インプラントにわたって蓋を設置するステップと、圧縮手段をアクティブ化または使用し、シールがインプラントに対して圧縮されるように、シールをインプラントに向かって下方に移動させるステップとを含む、方法。蓋は、上記または下記に説明される通りのものであってよく、本方法は、上記または下記に説明されるさらなる特徴の任意のものを含んでもよい。

本発明は、例えば、以下を提供する。

(項目 1)

医療用インプラント用の蓋であって、前記蓋は、第 1 の部分と、第 2 の部分と、係合手段とを備え、使用時、前記第 2 の部分に対する前記第 1 の部分の回転が、前記係合手段を前記インプラントと係合させ、かつ、前記インプラントに前記蓋を取り付けさせるように、前記第 2 の部分は、前記第 1 の部分に対して回転可能であるか、または、前記第 1 の部分は、前記第 2 の部分に対して回転可能である、蓋。

(項目 2)

前記第 1 の部分、前記第 2 の部分、および前記係合手段は、使用時、前記第 1 の部分に対する前記第 2 の部分の回転または前記第 2 の部分に対する前記第 1 の部分の回転が、前記第 1 の部分を前記係合手段に対して圧接させるように配列される、項目 1 に記載の蓋。

(項目 3)

前記係合手段は、前記第 2 の部分内に位置する、項目 1 または 2 に記載の蓋。

(項目 4)

前記係合手段は、１つまたはそれを上回るピンを備え、好ましくは、３つのピンを備える、項目１、２、または３に記載の蓋。

(項目５)

前記第１の部分は、キャップである、前記項目のいずれかに記載の蓋。

(項目６)

前記第２の部分は、基部であり、前記基部は、好ましくは、リング形状である、前記項目のいずれかに記載の蓋。

(項目７)

前記第１の部分は、前記第２の部分の中にスナップ嵌合される、前記項目のいずれかに記載の蓋。

(項目８)

前記第１および第２の部分は、相補的誘導手段を備える、前記項目のいずれかに記載の蓋。

(項目９)

前記相補的誘導手段は、前記第１の部分または前記第２の部分上に提供される１つまたはそれを上回る溝と、前記第１の部分および前記第２の部分の他方上に提供される１つまたはそれを上回る相補的突出部分とを備え、前記１つまたはそれを上回る突出部分は、前記１つまたはそれを上回る溝の中に延在するように配列され、それによって、前記第１および第２の部分が、相互に対して回転することを可能にする、項目８に記載の蓋。

(項目１０)

前記第１および第２の部分は、前記第２の部分が、前記第１の部分に対して回転されるか、または、前記第１の部分が、前記第２の部分に対して回転されるにつれて、前記第１の部分がまた、前記第２の部分に対して軸方向に移動させられるように配列される、前記項目のいずれかに記載の蓋。

(項目１１)

前記第１の部分は、前記第１の部分を前記第２の部分に対して回転させるための回転手段を備えるか、または、それに接続されている、前記項目のいずれかに記載の蓋。

(項目１２)

前記回転手段は、前記第２の部分が前記第１の部分に対して回転され得るか、または、前記第１の部分が前記第２の部分に対して回転され得る、第１の位置と、前記第２の部分が前記第１の部分に対して回転され得ないか、または、前記第１の部分が前記第２の部分に対して回転され得ない、第２の位置との間で移動可能である、項目１１に記載の蓋。

(項目１３)

前記回転手段は、前記第１の部分内に提供される溝または陥凹内で、好ましくは、半径方向に、移動するかまたは摺動するように配列される、移動可能な部材またはスライダである、項目１１または１２に記載の蓋。

(項目１４)

前記蓋は、シールをさらに備える、前記項目のいずれかに記載の蓋。

(項目１５)

前記シールは、前記第１の部分の中に提供されるか、または、その一部分である、項目１４に記載の蓋。

(項目１６)

前記シールは、シールリングである、項目１４または１５に記載の蓋。

(項目１７)

医療用インプラント用の蓋であって、前記蓋は、係合手段と係止手段とを備え、前記係止手段は、前記係合手段がインプラントと係合／係合解除し得ない、係止位置と、前記係合手段がインプラントと係合／係合解除し得る、係止解除位置との間で移動可能である、蓋。

(項目１８)

前記係止手段は、後退可能な部材を備える、項目１７に記載の蓋。

(項目 1 9)

前記係止手段は、係止解除位置にあるとき、前記係止手段が、前記係合手段を前記インプラントと係合 / 係合解除させるか、または、それを促進するために使用され得るように配列される、項目 1 7 または 1 8 に記載の蓋。

(項目 2 0)

医療用インプラント用の蓋であって、前記蓋は、シールおよび圧縮手段を備え、前記蓋が、インプラントにわたって設置されるとき、前記圧縮手段のアクティブ化または使用が、前記シールが前記インプラントに対して圧縮されるよう、少なくとも、前記シールを下向きに前記インプラントに向かって移動させるように、前記圧縮手段が、配列される、蓋。

(項目 2 1)

前記蓋は、前記蓋をインプラントと係合させるための係合手段をさらに備える、項目 2 0 に記載の蓋。

(項目 2 2)

前記圧縮手段はさらに、前記蓋が、インプラントにわたって設置されるとき、前記圧縮手段のアクティブ化または使用がまた、前記係合手段を前記インプラントと係合させるように配列される、項目 2 1 に記載の蓋。

(項目 2 3)

インプラントであって、前記インプラントは、前記インプラントに取り付けられる前記項目のいずれかに記載の蓋を伴う、インプラント。

(項目 2 4)

項目 1 から 1 6 のいずれかに記載の蓋を製造する方法であって、前記方法は、
第 1 の部分と、第 2 の部分と、係合手段とを提供するステップと、
前記第 1 の部分と、前記第 2 の部分と、前記係合手段とを組み立て、前記第 2 の部分が、前記第 1 の部分に対して回転可能である（または逆も同様）ように、かつ、使用時、前記第 1 の部分に対する前記第 2 の部分の回転（または逆も同様）が、前記係合手段を前記インプラントと係合させ、かつ、前記インプラントに蓋を取り付けさせるように、蓋を形成する、ステップと
を含む、方法。

(項目 2 5)

項目 1 から 1 6 のいずれかに記載の蓋をインプラントに取り付ける方法であって、前記方法は、
前記インプラントの突出端部にわたって前記蓋を設置するステップと、次いで、
前記係合手段が、前記インプラントと係合し、かつ、前記インプラントに前記蓋を取り付けるように、前記第 2 の部分を前記第 1 の部分に対して回転させる（または逆も同様）ステップと
を含む、方法。

(項目 2 6)

項目 1 から 1 6 のいずれかに記載の蓋をインプラントから除去する方法であって、前記方法は、
前記係合手段が、前記蓋から係合解除するように、前記第 2 の部分を前記第 1 の部分に対して回転させるステップ（または逆も同様）と、次いで、
前記インプラントから前記蓋を除去するステップと
を含む、方法。